

ウインターカップ2017 平成29年度 第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会 岡山県予選会			
日時	2017年11月4日	12:00	男子 決勝
会場名	玉島の森(体育館)		(M)コート
○ 岡山学芸館 70		$\left\{ \begin{array}{l} 10 - 15 \\ 27 - 5 \\ 24 - 12 \\ 9 - 11 \end{array} \right.$	43 玉野光南 ●

審判名	主 審	前花 直哉	副 審	柏木 琢磨, 大嶋 将之
-----	-----	-------	-----	--------------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
島田 龍太郎(C) *	4	14		6	2	1	小幡 泰寛(C) *	4	9	1	3		2
佐藤 正樹	5	-					松下 泰規 *	5	18	3	3	3	2
佐々木 光樹	6	0					高瀬 春輝 *	6	2		1		3
野山 拓篤	7	9	2	1	1		中場 亮汰 *	7	2		1		1
岡田 聖士 *	8	29	2	10	3	2	浜崎 誠悟	8	-				
服部 優志 *	9	12	2	2	2	2	和泉 健大 *	9	8	2	1		1
梶原 大幹	10	-					園田 秀斗	10	0				
勝田 順己	11	-					親見 京介	11	-				
岩佐 拓弥	12	0					中渕 隼介	12	0				
能瀬 竜一郎 *	13	6		2	2	3	浅野 響生	13	-				
石田 達也	14	-					泉 雄太	14	4	1		1	2
堀川 樹 *	15	0					新田 旬平	15	0				
門田 欣也	16	-					増田 尚大	16	-				
立見 圭悟	17	-					西谷 健	17	-				
立見 友幹	18	-					中尾 賢亮	18	0				1
合 計		70	6	21	10	8	合 計		43	7	9	4	12

戦 評

新人、春季、総体を制した学芸と、2年ぶり4回目のウインターカップ出場を目指す光南の対戦となった。

1P 両チーム、マンツーマンでスタート。光南⑤が得たフリースローを1本決め先制する。その後、光南⑦の3ポイントが決めるが、学芸の④リバウンドからのゴール下、⑧がフリースローを1本決める。その後もお互いシュートを決め、残り2分で学芸10-10光南となる。その後、光南が⑭がフリースローを1本、⑤がドライブ、リバウンドからのタップを決め、学芸10-15光南で1Pを終える。

2P 学芸ゾーンディフェンスに変わる。学芸⑧がミドルシュートを決めるが、光南④が3ポイントを返す。学芸⑧の3ポイント、⑨のドライブから得たフリースローを2本、④のリバウンドからのゴール下を決め、逆転する。その後、学芸のゾーンディフェンスが機能し始め、光南のシュートが外れるのを学芸が丁寧にリバウンドを抑え、学芸⑤や④のランニングシュートなどが決め、学芸25-18光南となり、突き放しにかかる。残り3分、光南の⑤からゴール下の⑥へのアシストから2ポイントを決めるが、その後も学芸が、リバウンド、スチールから速攻を決め、突き放す。残り15秒で学芸⑧の3ポイントが決まり、学芸37-20光南で2Pを終える。

3P お互い、厳しいディフェンスで得点が決まらない。学芸⑧がドライブを決める。光南が⑦のミドルシュートを決めた残り8分で、後半1回目のタイムアウトを取る。タイムアウト明け、学芸④のゴール下が外れるが⑧がリバウンドを抑えゴール下を決める。その後、光南のシュートが外れるのを、学芸がリバウンドを抑え、④ゴール下、⑧速攻を決める。光南も⑭3ポイント、⑤フリースロー、④ミドルシュートを決めるが、学芸④、⑦、⑧が得点を重ねる。学芸61-32光南で3Pを終える。

4P 光南もゾーンディフェンスに切り替える。両チーム激しいディフェンスで1分半、得点が動かなかったが、光南⑨の3ポイントを決める。その後も得点が動かず、残り6分、光南⑤が3ポイントを決める。学芸⑧、④が連続得点を決め、光南④の3ポイントが外れた残り5分、光南が後半2回目のタイムアウトを取る。タイムアウト明け、光南オールコート2-1-2ディフェンスを仕掛け、学芸の得点を抑える。しかし、学芸も激しいディフェンスで光南の得点も止まる。残り1分、光南⑤の3ポイントを決めるが、学芸⑦も3ポイントを決める。光南は最後まであきらめずにオフェンスを仕掛けるが、学芸70-43光南で試合を終える。学芸が7年ぶり6回目のウインターカップ出場を決める。

